災害の特徴を知る

津　波

陸内消は海岸線を有し、常に津波の危険にさらされているといえます。津波は地震発生後あっという間にやってくることがあります。避難は「速く」より「高く」を意識し、なるべく高台に避難しましょう。

・津波の特徴・

津波の速さはジェット機並み

津波の速さは、海の水深が深いほど速くなり、深海5,000ｍでは、津波はジェット機並みの時速約770キロの速さで進みます。海岸付近の水深が浅いところでは時速40キロほどです。津波を見てから逃げることはかなり危険です。

河川の逆流(遡上)

津波は河川を遡上し、何キロメートルも上流に遡上することがあります。遡上した津波が、堤防を越えて河川沿いの地域に被害をもたらすことがあります。

2波、3波と繰り返す

津波は2波、3波と繰り返しやってきます。第1波が大丈夫だからといって、安心してはいけません。津波注意報や津波警報が解除されるまでは注意しましょう。

津波の威力は想像以上

津波は海底から海面まですべての海水が巨大なかたまりとなって押し寄せるので、高さは想像を超え、破壊力はすさまじいものとなります。

・避難のポイント・

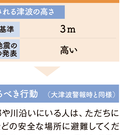
予報の種類 **大津波警報**

発表される津波の高さ	
発表基準	10m超え / 10m / 5m
巨大地震の場合の発表	巨大

取るべき行動

沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台などの安全な場所に避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。

想定される被害



木造家屋が全壊・流出し、人は津波による流れに巻き込まれる。

予報の種類 **津波警報**

発表される津波の高さ	
発表基準	3m
巨大地震の場合の発表	高い

取るべき行動（大津波警報時と同様）

沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台などの安全な場所に避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。

想定される被害

標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。

予報の種類 **津波注意報**

発表される津波の高さ	
発表基準	1m
巨大地震の場合の発表	なし

取るべき行動

海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないでください。

想定される被害

海の中では人は速い流れに巻き込まれる。小型船舶が転覆する。

津波ハザードマップを確認